慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	心は孤独な拠点リーダー
Sub Title	The heart is a lonely leader
Author	渡辺, 茂(Watanabe, Shigeru)
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2012
Jtitle	Newsletter Vol.18, (2012. 3) ,p.1- 1
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002003-00000018-0010

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学　グローバルCOEプログラム　論理と感性の先端的教育研究拠点

最終号

2012 March No, 18

Newsletter

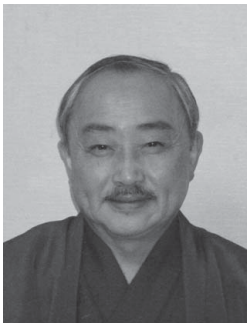
Centre for Advanced Research on Logic and Sensibility

心は孤独な拠点リーダー [1)]

The heart is a lonely leader

渡辺　茂
Shigeru Watanabe

「論理と感性の先端的教育研究拠点」拠点リーダー
Program leader, Centre for Advanced Research on Logic and Sensibility



米国に移って長い友人からこんな話を聞いたことがある。「移った当初はアスペルガーを疑わせるような教授ばかりだったが、今や彼らは姿を消し、口八丁手八丁のビジネスマンのような教授ばかりになった」そうだろうと思う。科学研究はいまや一つの事業であり、そこで求められる資質の多くは商業世界で求められる資質に近い。そうなると研究そのものより、事業の方により興趣を覚える人間が出てくるのもやむを得ないことである。

一方、僕は今や絶滅危惧種である典型的アスペルガー型研究者なのだ。僕はたった一人で問題を考え、たった一人で実験をし、たった一人でデータを見るのが好きなのだ。自分と、世界から自分を切り取った残りが静かに対峙する荒涼たる世界が僕の故郷だ。拠点の研究成果の中には僕が若い人の力を借りずに一人で完成させたものが幾つかある。しかし、見方によっては随分と嫌味な老人でもあるし、第一、源平合戦の頃ならいざ知らず、大将が単騎斬り込みをかけているようではとても近代的な組織とはいえない。この点においても僕は拠点リーダーとしての資質を著しく欠いていたと言わざるをえない。それでもなんとかやってこられたのは周囲が助けてくれたからなのだが、僕自身の中にも、何であれ任務の遂行に勲を感じる武家の心意気が残っていたのかもしれない。

もちろん、僕は嫌々拠点の仕事をしていた訳ではない。この拠点がなければ出来なかったことは多いし、とりわけ将来ある若い研究者に研究の場を提供することができたことは僕の研究者としての人生における望外の喜びだった。彼らの武運長久を祈ってやまない。グローバル COE のプログラムは拠点の形成までが目的である。その後は大学に委ねられている訳だが、紅旗征戎拠点維持吾事に非ざれば [2)]、此れを論じない。

そろそろ紙数が尽きてきた。夕闇が近づき、拠点から見える東京タワーにも照明が灯った。最後に、世話になった諸君に謝意を表そう。まずは拠点を支えてくれた歴代の事務局の諸君や慶應義塾大学研究支援センターの諸君に感謝を述べたい。この風変わりな拠点リーダーを良く支えてくれたと思う。また、活動の実体を担ってくれた事業推進担当者や研究員の諸君にも心より感謝する。ここでの経験がやがて諸君が PI になった時の拠点経営に活かされれば幸いである。そして、僕は今こそあの荒野へと戻って行こう、Alleingängar [3)] として。

1）Carson McCullers 著“*The heart is a lonely hunter*”の邦訳「心は孤独な狩人」から採った。
2）言うまでもなく定家「明月記」からの借用である。
3）独行者を意味する独逸語だが、特に山岳登攀において仲間とザイルを結ぶことなしに単独登頂を目指す者のこと。

Science became a kind of business now, so many of the desired traits of researchers is close to the desired traits in the commercial world. Meanwhile, I'm a researcher of the classic Asperger's type, an endangered species. I love to think the problem alone, run experiments without assistants, and analyze the data by myself. My spiritual home ground is such a desolate field. I have to say seriously that I lack the qualities of a research team leader in this aspect. Still, I have done my jobs with the help of the surrounding people and it may be that the spirit of the samurai was left me feeling an honor to perform my duties. Finally, I thank to all members of CARLS, both scientists and supporting staffs, and now I go back to the wilderness as ein Alleingängar.

Contents

心は孤独な拠点リーダー
The heart is a lonely leader　1

第5回　京都大学―慶應義塾大学グローバルCOE共催シンポジウム
『こころ』を知る、『こころ』を活かす　2

国際シンポジウム
医療人類学の最前線VI：診断の揺らぎ
鬱のジェンダー&こどもの心と病
～精神医学と人類学の対話から～　報告
3

fMRI と脳の講習会
Seminar Series on Brain Science　4

Kant's Transcendental Idealism in Focus Part IV
Jens Timmermann 博士講演会
"Kantian Dilemmas? Moral Conflict in Kantian Ethics"
論理学・数学の哲学セミナー
The Philosophy of Logic and Mathematics Seminar　5

慶應―南フロリダ大
Keio-South Florida Joint Seminar　6

第 4 回 Keio-Gachon NRI
ジョイントシンポジウム
The 4th Keio-Gachon NRI Joint Symposium
2011 年度プロジェクト科目報告会
Oral Presentations by Graduate Students in Project Course 2011　7

平成 23 年度若手研究成果報告会
Annual Seminar of Young Researchers　8

活動報告　9

事務局だより　10 ～ 12